

# 村人たちは故郷を守るために闘い、 そして民主主義に目覚め、 ついに再処理工場の建設を止めた！

(あらすじ) 1985年、緑豊かな南ドイツのどかなヴァッカーズドルフ村に核燃料の再処理工場の建設が強引に進められた。森の木々が無残にも切り倒されていく。保守的と思われた村人たちが立ち上がった… これに対し、州政府は機動隊を繰り出し、催涙ガスで容赦ない弾圧を繰り返した。村人たちは闘いの中で、次第に民主主義とは何かを考へ始める… 1986年、チェルノブイリ事故が起こると、さらに多くの人々が反核運動に加わってくる。映画完成2年後の1989年、ついに再処理工場の建設は中止された。

## 〈再処理工場とは〉

原発の使用済み核燃料をウランとプルトニウムに分ける再処理工場のこと。事故がなくても、大量の放射能が放出され、プルトニウムは核兵器の原料となることが懸念される。ドイツでは、再処理は法律で禁止されたが日本では、六ヶ所村で建設され、試運転中である。

主婦  
ギートル



私はここで生まれたの。  
ただ故郷を守りたいだけよ。

母親  
ロステク



自分の殻を破ったの。  
再処理工場を作らせたくない、  
そう思ったたらできたの。

アンドレアス  
神父



今、黙っているのは政府に加担することになる。独裁民主主義、これは造語ですが、当を得てる。住民の7割が選んだシェイラー群長が無視されその意見が聞き入れられない。



子どもたちを内部被ばくから守るために測定活動をしています

## ハカルワカル広場ってどんなところ？

ハカルワカル広場は子どもたちを内部被ばくから守るために、食品、土壌の放射能測定活動をしているボランティア団体です。子どもたちの未来を守りたい、市民の役に立ちたいと、ボランティアが汗を流しています。見学も、放射能についての不安やご質問のある方も大歓迎です！

ハカルワカル広場はボランティアと、  
維持会員の会費で運営されています。

八王子市民放射能測定室  
**ハカルワカル広場**

お電話  
問合せ **042-686-0820**

HP: <http://hachisoku.org> メール: [hachisoku@gmail.com](mailto:hachisoku@gmail.com)  
【開室】火～土曜日: 10時～15時

**ボランティア、維持会員募集中！**

お問い合わせはハカルワカル広場まで

寄付も大歓迎です！

ゆうちょ銀行 00180-8-290904(八王子市民放射能測定室)、  
他行からの振り込みは 018-0224460(八王子市民放射能測定室)

## 案内地図



- 徒歩: JR八王子駅(北口)より約20分、京王八王子駅より約23分
- バス: JR八王子駅(6番～10番乗り場のバスならどれでも)、京王八王子駅(主に1番のりば、2,3番も少し)から約8分。「織物組合」下車、バスの進行方向(西八王子方向)に歩いて約1分
- 車: 国道20号 八幡町交差点より西八王子方面へ約100m  
※駐車場がありませんので近くのコインパーキングをご利用ください